

(2) 誘導施設の設定

5 箇所の都市機能誘導区域ごとに、「高齢者福祉（介護福祉）機能」・「子育て機能」・「商業機能」について、拠点としての性格・必要となる都市機能、現在の都市機能の立地状況を踏まえ、誘導施設を設定します。

■名古屋鉄道前後駅周辺都市機能誘導区域

都市機能誘導区域	名古屋鉄道前後駅周辺（P65 参照）	
役割・性質 （再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の玄関口であり、市の中心的役割を担う ○交通利便性が高く、多様な世代の市民が集まる ○商業・業務等の都市機能の集積 ○多様な住宅の供給による街なか居住の推進 	
既存の都市機能	高齢者福祉施設	7 箇所
	商業施設（スーパー）	1 箇所
	子育て支援施設	3 箇所
誘導施設	<p>【商業施設（スーパー）】多様な世代が集まり、鉄道駅ということもあり通勤・通学の市民も多い場所である。既にスーパーが1箇所あるが、機能強化や新たな施設誘導により、買い物機能を強化する。⇒食品スーパーを設定する</p> <p>【子育て支援施設】通勤途中で利用する市民も多く、子育て世代にとって、子育てと仕事を両立させる上で、重要な拠点となる。保育園をはじめ、子どもを預けることができる施設を誘導し、子育て環境を充実させる。⇒保育園・こども園、児童クラブ、子育て支援センター、児童館を設定する</p>	

第6章 誘導施設

2 誘導施設の設定

■名古屋鉄道中京競馬場前駅周辺都市機能誘導区域

都市機能誘導区域	名古屋鉄道中京競馬場前駅周辺（P66 参照）	
役割・性質 （再掲）	○歴史と文化の交流拠点の役割を担う ○周辺には人口集積が高い既成市街地が広がる ○日常的なサービス施設の立地を誘導	
既存の都市機能	高齢者福祉施設	0 箇所
	商業施設（スーパー）	0 箇所
	子育て支援施設	0 箇所
誘導施設	<p>【商業施設（スーパー）】鉄道駅ということもあり、通勤の市民も多い場所である。スーパーが立地しておらず、買い物の利便性が低くなっている。新たな施設誘導により、買い物機能を強化する。 ⇒食品スーパーを設定する</p> <p>【子育て支援施設】500m 圏内にはないため、新たな子育て支援施設の立地により、子育て世代にとっては利便性が向上する。保育園・こども園を誘導し、子育て環境を充実させる。⇒保育園・こども園を設定する</p>	

■名古屋鉄道豊明駅周辺都市機能誘導区域

都市機能誘導区域	名古屋鉄道豊明駅周辺（P67 参照）	
役割・性質 （再掲）	○花と食の交流拠点の役割を担う ○周辺には人口集積が高い既成市街地が広がる ○日常的なサービス施設の立地を誘導	
既存の都市機能	高齢者福祉施設	2 箇所
	商業施設（スーパー）	0 箇所
	子育て支援施設	1 箇所
誘導施設	<p>【商業施設（スーパー）】鉄道駅ということもあり、通勤の市民も多い場所である。スーパーが立地しておらず、買い物の利便性が低くなっている。新たな施設誘導により、買い物機能を強化する。 ⇒食品スーパーを設定する</p> <p>【子育て支援施設】既に 1 箇所の立地があり、<u>現在の子育て環境を維持する</u>。⇒保育園・こども園を設定する</p>	

■豊明市役所周辺都市機能誘導区域

都市機能誘導区域	豊明市役所周辺（P68 参照）	
役割・性質 （再掲）	○行政・サービス機能の中心的役割を担う ○商業・医療・福祉等の多様な都市機能の集積	
既存の都市機能	高齢者福祉施設	3 箇所
	商業施設（スーパー）	3 箇所
	子育て支援施設	3 箇所
誘導施設	<p>【商業施設（スーパー）】市役所の周辺ということ、さらに医療施設等も集まって立地しており、利便性が高い場所である。既に3箇所のスーパーが立地している。市民の利便性の向上を目指し、買い物機能をさらに維持・強化する。⇒食品スーパーを設定する</p> <p>【子育て支援施設】既に3箇所の施設の立地がある。<u>現在の子育て環境</u>の維持・強化により、子育て世代にとって利便性の高い居住環境を実現する。⇒保育園・こども園、児童クラブを設定する</p>	

■豊明団地周辺都市機能誘導区域

都市機能誘導区域	豊明団地周辺（P69 参照）	
役割・性質 （再掲）	○中高層住宅主体の居住機能を担う ○若い世代の居住を促進し世代間バランスを確保 ○藤田医科大学や UR 都市機構との連携による高齢者が住みやすい環境の整備	
既存の都市機能	高齢者福祉施設	0 箇所
	商業施設（スーパー）	2 箇所
	子育て支援施設	7 箇所
誘導施設	<p>【高齢者福祉施設（健康増進施設）】健康医療福祉拠点である藤田医科大学や UR 都市機構と連携した地域であり、高齢者の介護予防に特化した機能を導入する。⇒健康増進施設を設定する</p> <p>【商業施設（スーパー）】既に2箇所のスーパーが立地している。市民の利便性の向上を目指し、買い物機能をさらに維持・強化する。⇒食品スーパーを設定する</p> <p>【子育て支援施設】既に7箇所の施設の立地がある。<u>現在の子育て環境</u>の維持・強化により、子育て世代にとって利便性の高い居住環境を実現する。⇒保育園・こども園、児童クラブ、子育て支援センター、児童館を設定する</p>	

第6章 誘導施設

2 誘導施設の設定

誘導施設の一覧

誘導施設	前後駅周辺	中京競馬場前 駅周辺	豊明駅周辺	市役所周辺	豊明団地周辺
食品スーパー	●	●	●	●	●
保育園・ こども園	●	●	○	○	○
児童クラブ	●	—	—	●	●
子育て支援 センター	●	—	—	—	●
児童館	●	—	—	—	●
健康増進施設	—	—	—	—	●

●:集積・拡充

○:既存ストックの活用(機能の維持確保)

誘導施設の定義

誘導施設	定義
健康増進施設	健康増進施設認定規程第2条に準じる施設
食品スーパー	生鮮食品を扱うスーパー等で店舗面積（大規模小売店舗立地法第2条に規定される小売業（飲食店業を除くものとし、物品加工修理業を含む）を行うための店舗の用に供される床面積）が1,000㎡以上のもの
保育園	児童福祉法第39条第1項に規定する保育所及びそれに準じる施設
こども園	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項に規定する認定こども園
児童クラブ	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行う施設
子育て支援センター	児童福祉法第6条の3第6項に規定する子育てについての相談、情報の提供、助言その他援助を行う施設
児童館	児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設

<豊明市独自の施策>

◆公的不動産の活用

今後、公共施設等を市民共有の経営資産（アセット）と捉え、市全体として適正化を図りつつ、効果的にマネジメントします。そのため、保有施設総量の縮減や統廃合・複合化、再配置を推進し、そこで生まれた公的不動産を民間の資金・ノウハウの活用も含めて検討します。直近の施策としては、2021年（令和3年）に2つの小学校を統合し、閉校となる唐竹小学校の空き施設を活用して、子育て・多世代交流・生涯学習関連の公共施設を集約します。

また、都市機能誘導区域の魅力を高め、誘導施設の立地を促進するため、都市機能誘導区域にある老朽化した都市計画施設（道路や公園など）の改修事業を検討します。

◆商業施設等の誘導策の検討

都市機能誘導区域内に立地意向がある食品スーパーや健康増進施設を適切に誘導するために、補助制度等を検討します。

◆子育て支援施設の誘導

子育て世代が安心して居住誘導区域に定住できるよう、既存の保育園の維持・改修について検討を進めます。なお、民間事業者から保育園やこども園などの事業計画の提案があった場合には、市全体のバランスを考慮しつつ、都市機能誘導区域外より優先させて整備の検討を行います。

(3) 公共交通に関する施策

◆公共交通ネットワークの充実

今後、人口減少、高齢化の進行が想定されるなか、日常生活における公共交通の需要が高まることが予測されます。

都市機能誘導区域の都市機能を強化し、拠点性を高めるとともに、そこへの移動手段を確保し、市民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを実現します。そのため、バス等の公共交通網については、サービス内容の適宜見直しに向け、関係機関と綿密な調整を図ります。また、公共交通の利用を促進することでエネルギーの効率的な利用、ひいては温室効果ガスの削減にも寄与します。